

科目名	地域産業政策論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Regional Economics	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	はたけやま あきのぶ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	畠山 光史	修得単位	2単位	
授業のテーマ	地域経済学への入門授業です。			
到達目標	学生は、地域経済学の基礎概念および基本的な分析手法を習得できる。			
授業概要	本授業では、まず地域経済を現状把握するための経済原則を学習します。次いで、地域経済分析の枠組みについて学習します。最後に、地域経済で発生する諸問題について学習します。			
授業計画				
第1回	イントロダクション			
第2回	地域の概念（地域の定義）			
第3回	産業の立地1（工業の立地）			
第4回	産業の立地2（商業の立地）			
第5回	地域経済の基本構造1（地域経済の三面等価）			
第6回	地域経済の基本構造2（開放体系としての地域経済）			
第7回	地域経済の基本構造3（地域経済における循環）			
第8回	前半のまとめ			
第9回	地域経済の成長理論1（地域成長の概念）			
第10回	地域経済の成長理論2（地域の成長理論）			
第11回	地域経済の成長理論3（需要主導型の成長モデル）			
第12回	地域経済の成長理論4（供給主導型の成長モデル）			
第13回	地域間格差と人口移動1（地域間格差）			
第14回	地域間格差と人口移動2（人口移動）			
第15回	総まとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	授業後には、授業内容を復習し、重要概念および分析手法を再確認してください（1.5時間程度）。			
履修条件 受講のルール	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱおよびミクロ経済学Ⅰ・Ⅱの単位修得を前提とします。			
テキスト	指定しません。			
参考文献・資料	黒田達朗，田渕隆俊，中村良平 「都市と地域の経済学（新版）」 有斐閣（2008）			
成績評価の方法	小テスト(20%)，定期試験(80%) ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は，試験を受けることができません。 ・遅刻は欠席と同等に扱います。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。			
オフィスアワー	月曜日4限、水曜日4限とします。			
成績評価基準	2016年以降に入学した学生：秀(100～90点)，優(89～80点)，良(79～70点)，可(69～60点)，不可(59点以下)			

	2015 年以前に入学した学生：優(100～80 点)，良(79～70 点)，可(69～60 点)，不可(59 点以下)
学生への メッセージ	経済政策系の科目は，現実経済に強い関心を持っていることが重要です。つまり，インターネット，テレビ，新聞，雑誌等で地域経済動向を積極的に把握するように努めることが重要です。